

1. 背景

歩道部に堆積した降灰等は、通行の安全確保や生活環境の保全を目的に歩道清掃車により清掃を行っています。しかし、現在使用している歩道清掃車は降灰用に製作されたものではないため、清掃時の粉塵発生やインターロッキング等の段差部や水分を含んだ降灰等については掃き残しという問題が生じています。そのような問題点を解決するために九州技術事務所では、今年度より火山灰の効率的な除去に向けて、歩道清掃車の性能を向上する検討を行っています。

2. 歩道清掃の現状

①粉塵発生状況

②非常に多い粉塵の発生

③ブラシの摩耗が大



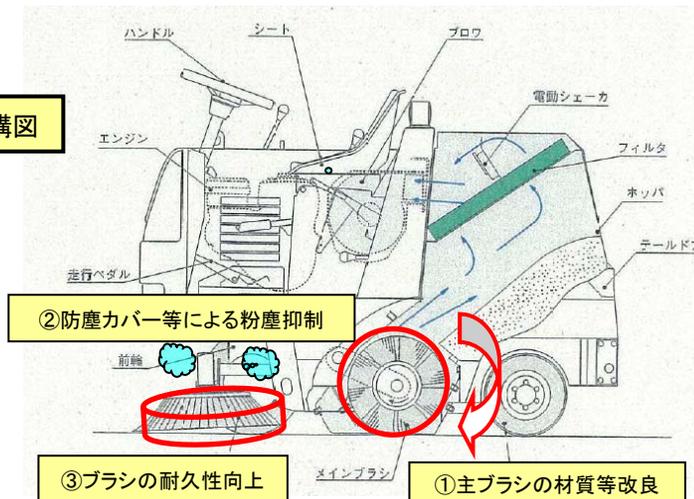
②段差部等による掃き残し

①能力不足による掃き残し



3. 改造イメージ

歩道(小型)清掃車機構図



4. 現在の進捗状況

九州技術事務所構内での要素実験実施(H24.12)

①回収能力向上

・主ブラシ材質等改良(現在はポリプロピレンφ0.6×2列)



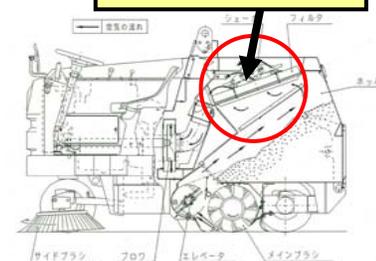
②粉塵抑制

・防塵カバーの設置
・フィルターの性能向上

防塵カバー



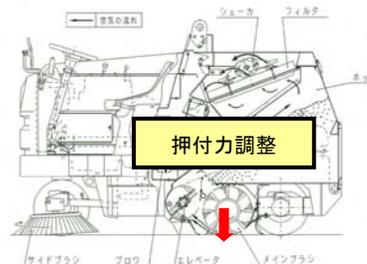
フィルター材質の改良



③ブラシ耐久性向上

・主ブラシ押付力調整機能改良(2段階→6段階)
・側ブラシ用油圧モータ取替えによる回転数調整(低回転化)

押付力調整



回転数調整



5. 今後の計画

要素実験結果に基づく現場実証実験を実施予定